

# 市民オンブズ岡崎

ホームページ

<https://onbuds-okazaki.org/>

NO.127

岡崎市竜美中 2-1-8 天野法律事務所内  
「市民オンブズ岡崎」

TEL(0564)53-7857FAX53-8038

Email m039asihara@yahoo.co.jp

郵便振替 00870-0-91440 「市民オンブズ岡崎」

発行 2022. 8. 16

# 岡崎市付属機関の公募委員 の選考について要望書提出

市民オンブズ岡崎では、情報公開請求で得た 16 機関の選考方法等から問題点を整理して、岡崎市長に対して改善を求める要望書を提出しました。

令和 4 年 8 月 4 日

## 岡崎市付属機関等の公募委員の選考に関する要望書

岡崎市長 中根康浩様

岡崎市竜美中 2 丁目 1-8 天野法律事務所内  
市民オンブズ岡崎 代表 渡邊研治

岡崎市では①法律又は個別の条例に基づき設置される附属機関が 53 機関（うち 16 機関が公募）②岡崎市附属機関設置条例に基づき設置される附属機関が 30 機関（うち 10 機関が公募）、教育委員会の附属機関が 3 機関（うち 1 機関が公募）③農業委員会の附属機関が 1 機関、④その他、事業者等の選定に係る委員会及び財産の使用者等の選定に係る委員会（うち 4 機関が公募）を必要に応じて設置しています。

このうち公募委員を設置している 31 機関のうち半数の 16 機関の公募状況を要綱、選考委員会メンバー、選考委員会の成立条件、選考基準、応募状況、採点状況などを情報開示請求しました。開示された内容をまとめたのが、別紙一覧表です。

さて、開示された文書を分析したところ、公募委員の選考についてはすべての機関で「選考を適正に行うため、選考委員会を設置する」とありました。しかし、その構成員は、市の意向に沿うような人材ばかり選ばれてしまうような担当部局の管理職ばかりでした（「岡崎市社会教育委員」

選考委員会の教育委員会委員を除く)。

専門家でもない、行政の職員でもない市民を選ぶのは、そうした方々にはない発想を出していただき、議論を活性化させたいという意向があるからだと推察するのですが、残念でなりません。

さらに、15 機関で「委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことが出来ない」としながら(「岡崎市学校給食センター運営委員会」については要綱に会議の成立要件が書かれていません)、「岡崎市男女共同参画推進審議会」、「岡崎市学校給食センター運営委員会」、「岡崎市国際化推進委員会」、「岡崎市障がい者自立支援協議会」、「岡崎市観光基本計画推進委員会」)の5機関は会議を開かず、稟議だけで片付けていました。選考基準に反しているのではないのでしょうか。

つぎに、「岡崎市図書館協議会」および「岡崎市社会教育委員」で面接が行われましたが、他のすべての機関は「応募者から提出された小論文の審査」で評価しています。

参加意欲、制度の知識、問題意識、論点整理、目標設定など多岐にわたる評価基準があり、800字の論文によって読み取ることが困難だろうと推察するが、すべての機関で評価点がつけられていたのには驚きしかありません。

つぎに、受付簿を備えていないことの不備があります。「岡崎市男女共同参画推進審議会」、「岡崎市行財政調査会」、「岡崎市障がい者自立支援協議会」、「岡崎市森づくり協議会」、「岡崎市観光基本計画推進委員会」、「岡崎市文化振興計画策定委員会」の6機関で受付簿が整備されていませんでした。

「岡崎市障がい者自立支援協議会委員」の募集で、期間外に提出された方が1名いらっしゃって不受理としたという担当者の説明がありました。どのような形であれ、受付簿を作成し、受理日を記載していなければ応募を受理できるのかどうかさえ確定できません。最低限の作業です。

付け加えるに、市民委員を論文審査で選考するにあたり、選考条件でない履歴書を添える必要が理解できません。

よって下記の項目について改善を要望します。

## 記

1. 履歴書を廃止し、岡崎市で応募用紙のフォーマットを用意してください。例えば、論文審査に影響を与えない別紙として、年齢要件、性別要件、委員の重複除外要件など必要な要件を記したフォーマット。
2. 受理日のわかる受付簿を常備すること。
3. 選考委員会メンバーに岡崎市職員以外の者を加えること。
4. 選考委員会の議事録を残すこと。
5. やむを得ず対面会議が行えない場合でも、オンライン会議や書面会議を行い、議長の発議で合議すること。
6. 800字程度の論文で表現できることは限られるので、応募者にわかるよう採点項目と配点を事前にあきらかにすること。

以上

別紙一覧表（略）

岡崎市公募委員の選考方法

	募集期間	論文テーマ	担当	募集人数	応募者数	採用数	受付簿	会議有無	選考方法	採点基準
岡崎市市民協働推進委員会委員	令和3年3月26日から4月30日	私の考える岡崎市の市民協働について	市民協働推進課	2名	2名	2名	あり 一覧	有	小論文審査 (今回面接なし)	参加の意欲、市民協働に関する基本的知識、問題意識、論点整理、目標設定の明確性および妥当性×5点×3名(60%未満失格)面接の場合同じ項目で点数化
岡崎市男女共同参画推進(及び多様な生の尊重に関する)審議会委員	令和3年6月25日から7月30日	男女共同参画社会の実現に必要なこととは	多様性社会推進課	3名以内	4名	2名	なし	無(稟議)	小論文審査 (今回面接なし)	意欲熱意、制度等の基本的知識、男女共同参画に対する問題意識、論点整理、明確性および妥当性×5点×4名(45点以下の採点のあった者は不採用)
岡崎市図書館協議会委員	令和4年4月1日から4月30日	図書館について思うこと	中央図書館	2名	6名	2名	あり 一覧	有	小論文(面接あり)審査	参加意欲、基本的知識、問題意識、論点整理、目標設定の明確性および妥当性×5点×5名(75点以下、面接点含め150点以下失格)
岡崎市水道事業および下水道事業審議会委員	令和4年2月1日から2月28日	未来に引き継ぐ持続可能な水道・下水道事業	上下水道総務課	2名	4名	2名	あり 一覧	有	小論文審査	参加意欲、問題意識、論点整理×5点×8名(8点以下の採点のあった者は不採用)
岡崎市学校給食センター委員会運営委員会委員	令和4年3月24日から5月13日	岡崎市の学校給食に期待すること	教育政策課	2名	2名	2名	あり 一覧	無(稟議)	小論文、履歴書	(岡崎市立小中学校通学者の親)参加の意欲、問題意識、論点整理、表現力、文章構成力×5点×4名(15点以下失格)

岡崎市社会教育委員	令和3年10月1日から10月29日	学校・家庭・地域連携による社会教育の推進について	社会教育課	2名程度	8名	2名	受付日あり一覧	有	小論文および履歴書、面接審査	参加の意欲、制度等の基本的知識、問題意識、論点整理、目標設定の明確性および妥当性×5点×5名(150点以下失格)
岡崎市行財政調査会委員	令和4年2月1日から2月28日	スマートでスリムな行財政運営	行政経営課	委員数の20%程度	4名	2名	受付簿なし	有	小論文審査	参加・協働の意欲、問題意識、改革推進に資する具体的知識・経験・アイデア×5点×3名(8点以下の採点のあった者は不採用)
第6次岡崎市防犯活動行動計画策定委員	令和4年1月1日から4月20日	子ども・女性・高齢者を犯罪から守る取り組み	防犯交通安全課	3名	3名	3名	あり一覧	有	小論文審査	計画策定への意欲、自ら行う防犯活動への意欲、論点整理、目標設定お達成プロセスの妥当性×5点×3名(45点以下失格)
岡崎市国際化推進委員会委員	令和3年7月21日から9月3日	多文化共生推進基本計画の今後の活用について	多様性社会推進課	2名	5名	2名	なし	無(稟議)	小論文審査	参加意欲・問題意識、多文化共生・国際交流に関する姿勢や知識、論点整理・読解力×5点×4名(27点以下の採点のあった者は不採用)
岡崎市生涯学習推進委員会委員	令和4年1月1日から4月30日	岡崎市の生涯学習について	生涯学習課	2名	3名	2名	あり一覧	書面会議	小論文審査	参加の意欲、問題意識、論点整理、目標設定の明確性、および妥当性×5点×3名(36点以下失格)
岡崎市障がい者自立支援協議会委員	令和4年2月1日から2月28日	私の考える岡崎市障がい者自立支援協議会のあり方	障がい福祉課	5名	4名	3名(定数5名)	なし	無(稟議)	小論文審査	参加意欲、基本的知識、問題意識、論点整理、目標設定の明確性・妥当性×(20/15/10/5/0)を評価した選考委員会6名の平均点

										(59点以下不採用)
岡崎市自殺対策推進協議会委員	令和3年7月21日から9月3日	自殺を防ぐための市民協働とは	保健部健康増進課	3名	1名	1名	なし	有	小論文審査	参加の意欲、制度等の基本的知識、問題意識、論点整理、目標設定の明確性および妥当性×5点×4名(平均15点以下失格)
岡崎市森づくり協議会委員	令和3年7月1日から7月30日	岡崎市における持続可能な森林の経営について	森林課	2名	6名	2名	なし	有(会議録無)	小論文審査	参加の意欲、制度等の基本的知識、問題意識×5点×3名(11点以下失格)
岡崎市食育推進会議委員	令和3年7月21日から9月3日	自殺を防ぐための市民協働とは	保健部健康増進課	2名	3名	2名	あり一覽	書面会議	小論文審査	参加の意欲、制度等の基本的知識、問題意識、論点整理、目標設定の明確性および妥当性×5点×4名(平均15点以下失格)
岡崎市観光基本計画推進委員会委員	令和4年2月1日から2月28日	大河ドラマを契機とした岡崎市の観光施策	観光推進課	2名程度	9名	3名	受付簿なし	無(稟議)	小論文審査	参加意欲、観光事業の知識、問題意識、論点整理、目標設定および達成プロセスの妥当性×5点×3名(75点満点、45点未満不採用)
岡崎市文化振興推進計画策定委員会委員	令和3年7月1日から7月30日	応募理由800字	文化振興課	2名	7名	2名	なし	書面会議	小論文審査	参加の意欲、問題意識、論点整理、表現力、文章構成力×5点×4名(48点以下失格)

# 「岡藤保環境保全の会」の多面的機能支払が 是正されたのを確認

平成 29 年から 5 年間「多面的機能発揮促進事業」として「岡藤保環境保全の会」が認定されていた耕地面積のうち、国道 1 号線から保母町に向かう入り口付近 2 か所（砂利置き場とイチゴの伊藤園）では耕作していないことを令和元年に当会が指摘しました。その後、令和 3 年度に変更手続きがされたとのことでした。ただ、5 年継続の事業のため平成 29 年度から令和 2 年度支出分（毎年 2 ha 分）の返納が生じるところ、返納されていませんでした。昨年、岡崎市当局に尋ねたところ、平成 3 年度支払い分で相殺できると愛知県に確認したということでした。

確認のため、平成 3 年度支出を情報公開請求しました。

1 年間の支払額 3,144,000 円のうち 2 ha 分 90,000 円×4 年＝360,000 円を令和 3 年度支払額 3,054,000 円から 360,000 円を差し引いて 2,694,000 円支出されていることが確認できました。適正に処理されています。

ただ、令和 2 年 10 月 30 日に岡崎市から回答を得た「愛知県土地改良事業団体連合会」に委託した作業内容をここで再度皆さんにお知らせしたいと思います。

市の回答では（資料 1）

「各組織が必要な作業を選択して依頼しており、土地改良法に基づく公益団体である愛知県土地改良事業団体連合会が県内統一の基準で、作業に対する時間や出張費等の旅費だ度を算出した見積もりを各組織が承認して契約しております。」として、

「岡藤保環境保全の会」について、（資料 2）

① 年度計画の作成②活動記録の確認・指導・作成③新鮮出納簿の確認・指導・作成④実施状況報告書の確認・指導作成⑤作業写真のインデックス写真の作成⑥打ち合わせを 3 回から 4 回確認・指導・作成を行っているとのことでした。

5 年間同じような書類を提出していますので、初年度は多額の委託費が生じても不思議ありません（それにしても打ち合わせ 3、4 回だけの作業で済んでいるのですから、高額と思います）が、以下の表にまとめてみましたが、合計 1,231,800 円もの経費を支出しています。なんだか上納金のように見えてしまい、費用対効果の面で疑問が残ります。

年度	金額
平成 29 年度	297,000 円
平成 30 年度	297,000 円
令和元年度	302,500 円
令和 2 年度	304,700 円
令和 3 年度	306,900 円

(資料1)

岡崎市長 中 根 康 洋



### 多面的機能支払交付金に関する質問について（回答）

日頃より農業行政にご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

2020年10月20日付けの「多面的機能支払交付金会計についての質問」について下記のとおり回答いたします。

#### 記

##### 1、共通事項

「岡藤美保環境保全の会」及び「六ツ美中部碧の会」が愛知県土地改良事業団体連合会へ委託した作業内容は、別紙のとおりです。

各組織が必要な作業を選択して依頼しており、土地改良法に基づく公益団体である愛知県土地改良事業団体連合会が県内統一の基準で、作業に対する時間や出張費等の旅費などを算出した見積もりを各組織が承認して契約しております。

##### 2、岡藤美保環境保全の会分

###### ①

①及び②については、交付金の交付対象農地に入っています。③（ダイナミック生コン（株）の敷地）については、交付金の交付対象農地に含まれておりません。

①及び②については、現在の利用状況等を確認したところ農地ではなく、交付金の交付対象農地から除外され、交付金の返還対象となります。すでに組織と交付金の返金及び計画の変更について手続きの話し合いを進めています。

#### (資料2) 別紙

##### 岡藤美保環境保全の会

以下の書類の確認・指導・作成を行っています。

- ・ 年度計画の作成
- ・ 活動記録の確認・指導・作成
- ・ 金銭出納簿の確認・指導・作成
- ・ 実施状況報告書の確認・指導・作成
- ・ 作業写真のインデックス写真の作成
- ・ 打合せを3回から4回

# 消防団協力金 16 市町村に 住民から自治会通じ 埼玉市民オンブズ調査

2022 年 7 月 23 日 東京新聞の記事から

埼玉市民オンブズマンネットワーク（代表幹事・田中寿夫狭山市議）は二十二日、消防団が自治会を通じて協力金（寄付金）を集めているか全六十三市町村にアンケートし、十六市町村が「受け取っている」と回答したと発表した。

アンケートは二月に実施し、五十五市町村から回答があった。「受け取っている」と答えた十六市町村のうち、年間の協力金額の最多は狭山市の消防団が九百万円。ほかに所沢市が四百七十五万円、ときがわ町が四百三十二万円、東秩父村が四百万円などだった。「受け取っていない」は十九市町、「実態を把握していない」が二十市町だった。

今後の対応も問い、消防団が受け取っていた十五の市町村は「受け取らない」と回答。狭山市のみ「受け取る」とした。同市危機管理課は「後援会費として徴収し、団運営費として活用している。決算報告書も作成している」とした上で「違法となればただちに是正する」と説明した。

消防団への寄付を巡っては、二〇一〇年三月の横浜地裁判決で「地方自治法は法律または条例に基づかずには支給することができないと規定している」として違法となる余地が指摘されている。

田中代表幹事は「必要な経費は予算化すべきだ」と話した。（浅野有紀）

## 市民オンブズ岡崎 例会の案内

9 月 6 日（火）PM 7 時 00 分～

10 月 4 日（火）PM 7 時 00 分～

りぶら（岡崎中央図書館）102A 会議室